

日本基督教団 関東教区

第23回「女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議」

子どもたちを取りまく暴力を考える・Ⅲ

－ 子どもへの暴力防止（CAP）プログラムを体験する －

女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議では、教会におけるセクシュアル・ハラスメントを取り上げてきました。一昨年と昨年は、子どもたちを取り巻く暴力について学び、わたしたちの社会の最も弱い者に向けられる暴力の現実を知らされました。今年は具体的にCAP（Child Assault Prevention＝子どもへの暴力防止）のプログラムを体験するワークショップを行います。子どもたちは大人が考える以上にたくさんの暴力を受けているといます。CAPのワークショップを通して、何が暴力となってわたしたちの心と体を傷つけ、生きる力を奪うのかへの気づきが与えられるとともに、弱くされている人、子どもたちや女性たちを力づけるために、何が出来るのかを学びたいと願っています。乳幼児の保育に携わっておられる方、教会学校やCSのスタッフとして奉仕しておられる方、また子どもたちと関わる機会の多い方々にも、貴重な研修の時となる事と思えます。みなさまのご参加をお待ちしています。

関東教区「女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議」実行委員会

実行委員 新潟地区 田中暁美（長岡教会）／栃木地区 羽島載憲（足利東教会）

茨城地区 橘 秀紀（水戸教会）、玉置千鶴子（水戸教会）

埼玉地区 後藤龍男（和戸教会）／群馬地区 藤 知佳（甘楽教会）

記

日 時：2016年7月29日（金）午前10時30分～午後1時30分
（午前10時受付）

場 所：日本基督教団 新潟教会
（新潟市中央区営所通二番町 709-2 TEL025-222-3420）

ワークショップ指導：CAP・にいがた

※CAPとは

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、いじめ・虐待・痴漢・誘拐といったさまざまな暴力に対して何が出来るかを、子ども、保護者、教職員、地域の人々に伝えるプログラムです。

CAPは1978年にアメリカ・オハイオ州コロンバス市のレイブ救援センターで作られ、1985年に森田ゆりさんによって日本に紹介されました。その後1995年頃から日本各地で実施されるようになりました。

CAP・にいがたは、1996年8月に森田ゆりさんによる養成講座を修了したCAPスペシャリストで同年9月に発足し、2013年3月現在、新潟県内の子ども約76,000人/おとな約59,000人、合計約135,000人にCAPワークショップを届けることができました。現在、主婦・教師・養護教諭・保育士・カウンセラー など 約30人のメンバーで活動しています。(CAP・にいがたHPより)

参加費：1,000円(旅費プールを含む) ※昼食は各自でご用意下さい。
出来るだけ教会で負担頂けると幸いです。

交通費補助について：

6,000円以上は、申請に基づき、5,000円を上限として補助いたします。

プログラム：10:00 受付

10:30 開会祈祷・オリエンテーション

10:40～12:10 ワークショップ

12:10～13:00 昼食(お弁当)

13:00～13:30 まとめ・質疑応答

13:30 閉会祈祷

申し込み先：地区連絡会議実行委員会 藤 知佳まで
〒370-2343 富岡市七日市1168 甘楽教会
Tel & Fax 0274-62-6414

申し込み締め切り：2016年7月24日(日)

※下記参加申込用紙に参加者を明記し、FAX(0274-62-6414)または郵送でお申し込み下さい。

関東教区「女性と男性が共に宣教を担うための地区連絡会議」申し込み用紙

_____教会・伝道所/個人

| お名前 | ご住所 | 電話番号 |
|-----|-----|------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |